

人工衛星画像による地図情報整備

(概算要求額 40百万円)

【背景・目的】

我が国全域の正確な地図情報を整備することは、国土の開発、環境、農業、交通等の行政面において不可欠であり、国土管理の基礎資料として重要

本土から遠く離れた地域等においては、航空機を用いた空中写真撮影が困難なことなどから、地図情報の整備・更新が不十分

陸域観測技術衛星「だいち (ALOS)」等による人工衛星画像の活用により、これまでより正確かつ詳細な地図情報の整備・更新が技術的に可能となってきた

【施策の概要】

航空機による空中写真撮影が困難なために地図情報整備が不十分だった地域において、人工衛星画像を用いて地図情報を整備・更新する

【効果】

国土管理の基礎資料として重要な我が国全域の地図情報の整備
地図としての利用のみならず、国土の面積算出の基礎データとなる

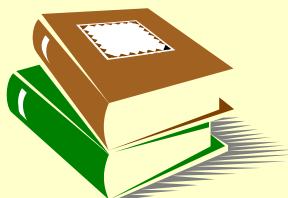
人工衛星画像による地図情報整備

人工衛星画像による地形図
作成手法の検討 (H17 ~ 19)



試作図の作成

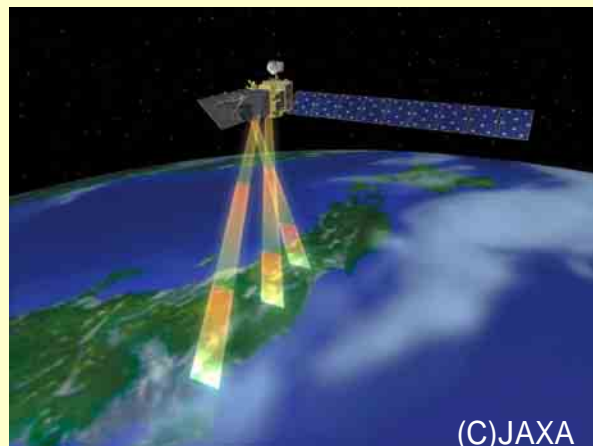
判読マニュアル
の策定等



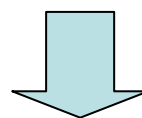
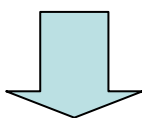
陸域観測技術衛星「だいち」
の定常観測運用の開始

H18.1.24 打ち上げ

H18.10.24 データの提供開始



(C)JAXA



人工衛星画像による地図情報整備